

■報告テーマ： システム監査実践セミナー（近畿支部主催）開催報告

報告者（会員 No.645 是松 徹）

■報告の概要

去る9月25日、26日に、近畿支部として毎年恒例のシステム監査実践セミナーを開催しましたので、以下にご報告いたします。

<概要>

- (1)日時：2010年9月25日（土）～26日（日）
- (2)場所：三洋電機研修センター（神戸市）
- (3)受講者数：9名（2チーム編成）
- (4)講師・スタッフ（当日）：吉田、関西、三橋、松井、金子、是松
- (5)参加費：会 員 84,000円（早期割引 63,000円）
非会員 105,000円（早期割引 84,000円）

報告内容

1. 今回の特徴

(1)研修のシリーズ化

実践セミナーを、初心者を対象とした入門セミナー、本部にご協力いただいた課題解決セミナーに引き続いて一連のシリーズ化したセミナーとして開催し、他のセミナーとの関連や位置付けを明確にして、受講生の多様な要望に応えられるように努めました。

(2)ハイレベルの受講生

本セミナーの再度の受講生、本部での4日間の実践セミナーの受講経験者、協会セミナーの受講経験者等が参加され、また、大半の方がシステム監査技術者を含めた複数資格の保有者でもあり、自己啓発に対する高い意欲を感じるとともに、研修での議論や成果物の内容等を通して、講師側も大いに勉強させていただきました。

2. カリキュラム

<9月25日（土）>

- 13:00～13:20 開会
- 13:20～14:20 講義 システム監査の動向と技法概説
- 14:20～15:00 講義 演習課題説明
- 15:00～17:00 予備調査準備、予備調査（監査依頼者にインタビュー）、予備調査まとめ
- 17:00～18:00 監査個別計画書作成
- 19:00～19:20 監査個別計画書発表

19:20～21:00 講師講評、本調査準備

21:00～ 懇親会

<6月28日(日)>

8:40～10:30 本調査(現場責任者4名にインタビュー)

10:30～12:00 本調査まとめ、監査報告書作成

13:00～14:00 監査報告書作成(続き)

14:00～15:00 監査報告会

15:00～15:40 講師講評、監査事例紹介

15:40～16:30 アンケート、閉会

3. 受講者の声 -アンケート抜粋-

- (1)全体：期待通り6名 ほぼ期待通り3名
- (2)日程/時間帯：非常に良い5名 良い4名
- (3)時間配分：非常に良い6名 良い2名 普通1名
- (4)講義(システム監査)：非常に良い2名 良い5名 普通2名
- (5)事例テーマ：有益度高い4名 やや高い5名
- (6)事前配布資料：有益度高い5名 やや高い4名
- (7)講師/スタッフ対応：非常に良い8名 良い1名
- (8)会場(場所)：非常に良い4名 良い3名 普通2名
- (9)費用：非常に良い1名 良い4名 普通3名 悪い1名

4. 所感

ロールプレイを通し、一通りの監査模擬体験ができたことについて、多くの受講者から有益であったとの評価をいただき、さらに事後課題の監査報告書作成にも意欲的に取り組んでいただいたことで、スタッフ一同、本セミナーを実施した甲斐があったと感じています。

一方で、受講者からは、事例の鮮度に対する課題提起や相部屋、宿泊備品持参等について事前連絡が欲しい等の運営面に対する要望をいただいております、内容面、運営面双方での今後の改善点であるととらえています。

これからも、今回の実施結果を踏まえて、引き続き、セミナー内容の充実を図っていく予定です。

以降に、受講者からいただいた感想文を掲載いたします。

システム監査実践セミナー（近畿支部主催） 受講感想文

（会員 No.1813 大友 俊夫）

この種の演習は初参加でしたが、システム監査の手順・報告の要領について、実例をもとにした疑似体験により貴重な経験を積むことができました。

特に監査チームで演習を進める中で、改めて、システム監査・管理基準が監査業務における共通のバイブルであること、また、監査技法におけるインタビューの重要性をロールプレイで体験できたことなど、監査知識・能力の向上を実感しております。

最後に、演習中の適切なアドバイスはもちろん、ロールプレイでの役者ぶりなど、講師団の熱心なご指導に、この場を借りて感謝申し上げます。

システム監査実践セミナー（近畿支部主催） 受講感想文

（会員 No.1544 因幡 正）

1. はじめに

9月25日（土）、26日（日）に三洋電機 研修センター（兵庫県）で開催されたシステム監査実践セミナー2日間コースを受講しました。

研修センターは山頂付近にあり、明石大橋をはじめ景色が素敵な場所にあり、料理も美味しく、環境はよいものでした。

私自身、監査に関しては、実務経験がなく、まわりの受講生の方は、監査や審査の実務経験をされている方も多く見受けられ、中には、セミナーも2回目で、実務経験も豊富そうで、講師の方で参加されるほうが望ましいのではと思う方もいらっしゃいました。

その中で、足をひっぱらないで参加し自分の意見が言えるのだろうか？ という不安でいっぱいでしたが、2日間という短い期間をなんとか、経験豊富な講師のご支援の下、修了することができたと思います。

2. セミナーについて

監査対象の会社は、約180店舗の化粧品、医薬品を中心としたドラッグストアと20店舗の日常雑貨品・食料品等もあわせて取り扱う大型店を運営しているZ社でした。POSシステム、EOSを導入しているが、情報システムが世間一般や同業他社と比べて、遅れているのではないかという危惧があり、ネットワーク関係のトラブルも多いので、監査を依頼したいという内容で、9名の受講生がA,Bの2チームに別れ、講師の方が、Z社の社長、管理部長、システム課長、大型店の店長、繁華街店の店長、商店街店の店長に扮し、ロールプレイングを行いながら、監査計画作成から予備調査、本調査、監査報告の実際を模擬的に体験するものです。

講師の方も、声の大きい迫力のある店長や、なんでも、課長に業務を押し付ける部長、声の大きい店長に流される店長と本当にありがちな現場を演じておられる感がして、面白くイ

インタビューを行う事ができました。しかし反面、私自身、やみくもに質問しているだけで、本当に、重要な事が聞き出せているのか? という反省点も感じました。

実際の実務では、忙しい中を、わざわざ、時間を割いてきていただいているので、何度もインタビューできるわけもなく、事前には、インタビューする内容を決めていたのですが、話が脱線してみたり、本当に聞きたい内容が中途半端に終わってしまったような気がしています。

監査テーマにおいては、A チームと B チームでは、まったく違ったテーマを設定しました。

A チームでは、システム管理基準に重きをおき、情報戦略から保守までの全体を通した監査を行い、B チームでは、POS と EOS に絞ったテーマ監査を行いました。

その結果、改善提案も、チームの個性により、異なった特色が出たと思います。私は、B チームに所属していましたが、A チームの発想は、私にとって新たな気づきを与えて頂いたものであり、非常に参考になりました。

受講生の擬似体験が終った後、実際の題材となった Z 社の監査人協会が行った監査がどうであったかを拝聴しました。苦勞された点、反省点等を色々、お聞きし、私たちが行った監査と比較しながら、どのように進めていくべきであったかを色々、考えさせられ、自分を高めていくことができたと思います。

3. おわりに

実務経験豊富な講師の方の指導と下に、実務経験豊富な受講生と同席させて頂き、同じ方向に向かって、色々、考えさせられたり、擬似とはいえ、実務に触れさせて頂いたことは、私にとって、非常に有意義で、貴重な体験だったと思います。皆様には、大変、お世話になり、ありがとうございました。

(講義風景)



（ロールプレイ風景）



（成果発表風景）



以上